

基本方針Ⅲ（若年期から高齢期までライフステージに応じた生涯スポーツの推進）

政策項目	指 標	2018年度 (H30) の値	2019年度 (R元) 実績値	2020年度 (R2) 実績値	2021年度 (R3) 実績値	2022年度 (R4) 実績値	2023年度 (R5) 目標値
1	過去1年間に一度も運動・スポーツを実施しなかった人の割合	20.3%	19.9%	24.9%	18.6%	21.3%	10.0%
2	総合型地域スポーツクラブに関する実態調査におけるPDCAサイクルにより運営の改善等を図っている総合型地域スポーツクラブの割合	30.4%	33.3%	23.1%	22.2%	37.5%	70.0%

結果

○政策項目 1

- ・新型コロナウイルスの影響により、スポーツが「不要不急」のように扱われ、日常の生活から制限される状況となり、未実施率は増加し、目標が達成できなかった。
- ・R2:コロナが蔓延し、初めて緊急事態が宣言されるなど活動が制限
- ・R3:感染者数の波が小さく、コロナ対策も周知され、活動を徐々に再開
- ・R4:感染者数の波が大きく、活動を自粛していた状況

○政策項目 2

- ・新型コロナウイルスの影響により、様々な活動が自粛や制限される中、総合型スポーツクラブ存続のため活動を維持することに注力し、運営の改善まで対応できず、目標が達成できなかった。

分析

○政策項目 1

- ・モニター調査によると、主な活動相手について、ひとりの割合が、R1は39.7%であったが、R4は48.4%となり、コロナ禍を経て、ひとりで活動している割合は増加している。
- ・今後、ひとりで気軽に運動できる取組など、主体に応じて運動習慣を定着させることが必要と考える。

○政策項目 2

- ・対策として、クラブへの個別ヒアリングにより、質向上のため日本スポーツ協会が実施している登録・認証制度を周知するとともに、指導者の養成講座を開催した。
- ・今後、クラブの質的充実を図るため、引き続き情報共有を図るとともに、クラブが地域で認知され、活動の幅を広げるとともに、参加者を増やす取組が必要と考える。

基本方針Ⅳ（競技力の向上）

政策項目	指 標	2018年度 (H30) の値	2019年度 (R元) 実績値	2020年度 (R2) 実績値	2021年度 (R3) 実績値	2022年度 (R4) 実績値	2023年度 (R5) 目標値
1	①ターゲットエイジを対象とした発掘・育成事業を実施している競技団体の割合	36.6%	87.8%	80.5%	78.0%	82.9%	100%
	②国民体育大会における天皇杯得点と順位	803点	809点	(延期)	(中止)	816.5点	900点
		36位	37位	(延期)	(中止)	33位	20位台
2	競技力向上に係る優秀な若手指導者を育成・強化している競技団体の割合	24.4%	34.1%	48.4%	56.1%	61.0%	100.0%

結果

○政策項目 1 ①

- ・R1の新事業により大幅に改善したものの、新型コロナウイルスの影響による活動制限により、段階的にイベントや講習会等事業が中止となったため、目標が達成できなかった。

○政策項目 1 ②

- ・ジュニアの発掘・育成、指導者の育成における実績の上昇により、個人競技や測定型・採点型競技は向上している。
- ・一方で、サッカーやホッケーなどの高得点が獲得できる集団球技種目は、新型コロナウイルスの影響により集団練習や県外交流が制約されたため、全国での成績に大きな変動が生じなかったと思われる。

○政策項目 2

- ・新型コロナウイルスの影響により、講習会の中止や県外講習会へ参加できず、目標が達成できなかった。

分析

○政策項目 1 ①

- ・小規模な競技団体において、指導者が少なく柔軟な対応が難しいことが伺える。
- ・R4までの活動制限も解除となったことから、R5以降は100%に近づくと考えられ、今後は高水準を維持していくことが必要と考える。

○政策項目 1 ②

- ・今後、より効果的な強化を図るため、ハイレベルな対戦相手との交流試合等の機会や医・科学方面のサポートをさらに充実させていくことが必要と考える。

○政策項目 2

- ・活動制限の解除により割合は向上してきているか、小規模な競技団体においては、対象者が少ないことが伺える。
- ・今後、育成した選手が指導者になる好循環を目指し、継続していくことが必要と考える。